

# ナツツバキとコアシナバチ

2015年7月6日

11時45分、近所のKさんからナツツバキが咲いていると電話いただく。① 直径約5センチ、清楚な五弁の白い花が咲いていた。黄色の雄しべとの対比が美しい。

ナツツバキは梅雨の頃に咲き、別名シャラノキ(沙羅の木)と呼ばれるという。古くは寺院に多く、庭木にも利用されているらしい。② 卵型の若実(左下)もある。

二人の前にハチが飛んできて、立てかけてある古ホウキの後ろに入り込んだ。裏返して見ると、③ 小さな巣を見つける。2匹が幼虫にエサを与えている？ 巣が動いたため1匹が飛び出して身近を飛び回り、④ ホウキに止まった、急いで元の状態に戻す。

コアシナガバチで今年の9月1日に同じ庭で出会った。(PDF 2014.9.1 アシナガバチ2種参照) 場所は今年の巣の真下にあたる、何故か場所替えしたよう、巣が大きくなると去年のように上に振り返るだろう。ちなみに我が家ではまだコアシナガバチの巣を見つけていない。

土手のクルミがたくさん⑤ 実をつけていた。もうリスが訪れているかも知れない。







②



③





④



⑤